



2018年2月16日

各位

会社名 株式会社 ツヴァイ
代表者 代表取締役社長 縣 厚伸
(コード番号: 2417)
問合せ先 経営管理本部長 後藤 喜一
(TEL: 03-6858-6544)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号: 8267)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年2月期(2017年3月1日~2018年2月28日)について、2017年4月12日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 2018年2月期通期業績予想の修正(2017年3月1日~2018年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,800	百万円 60	百万円 90	百万円 40	円 銭 10.14
今回業績予想(B)	3,700	△200	△175	△220	△55.77
増減額(B-A)	△100	△260	△265	△260	△65.91
増減率(%)	△2.6	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 2017年2月期	3,763	50	83	36	9.17

2. 修正の理由

2018年2月期は、お客さまご応募の増加を目指した積極的な広告宣伝および入会業務を担うマリッジコンサルタント(MC)の雇用形態の変更と処遇の見直しを実施し、新規入会者の獲得に取り組んでまいりました。

上半期は、MCの人材確保および研修によるスキルアップが計画通りに進まず、首都圏エリアを中心に新規入会者の獲得が苦戦をしたことで、会員数が減少となりました。

下半期には、MCの採用状況が改善され、お客さま受入体制の整備が進み、増加しているお客さまご応募が入会に繋がりはじめたことで、9月から1月度までの5か月の新規入会者は前年同期比110.9%となりました。また、MCによる会員サポートの充実や会員ポータルサイトの機能追加等により退会者が減少しており、同期間においては会員数が増加に転じております。

売上高は、上半期の会員数減少による月会費売上高の未達を年末年始キャンペーンによる新規入会者獲得による売上等で補うことができませんでした。利益につきましては、会員数減少に歯止めをかけるために8月以降から積極的に広告宣伝を実施したことにより売上原価が増加しました。店舗閉鎖等を含めた経費削減策を実施いたしましたが、増加した売上原価を補うには到らず、利益計画差が発生する見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上